

県中学校新人大会 町内生徒が活躍



箱石花さん

柔道競技女子個人 箱石さんが準優勝

11月17日、18日に二戸市総合スポーツセンターで行われた柔道競技女子個人では、山田中柔道部の箱石花さん（2年）が準優勝しました。「決勝では1年生に負けてしまいました。反省点も多かったですが」と終始悔しさを話した箱石さんでしたが、「全国中総体出場のために、これから体力をつけ、技を磨いていきます」と話すその目には力強さがこもっていました。



山田町長 佐藤信逸

謹賀新年

町長からの年賀状

新年あけましておめでとうございます。

昨年を振り返りますと全国いたるところで災害が頻発した一年であったと思います。猛烈な台風や災害級の猛暑、地震など。本町にも、またいつ未曾有の災害が降りかかるか分かりません。町として一日も早い防潮堤の完成を強く県に要望しているところです。また、6月には台湾へ訪問し、台湾東部地震災害への義援金を台湾赤十字社の王清峰会長に手渡してきました。東日本大震災後に同社からいただいた多大なる支援に対しても御礼を述べることができました。王会長は、本町のカキが大変お気に入りのようで、ぜひ山田にいらして堪能いただきたいと申し上げました。

町のほうに目を転じますと復興事業は最終局面に差し掛かってまいりました。土地区画整理地内の土地の引き渡しを進めており、3月までにはすべての土地の引き渡しが完了します。また災害公営住宅も最後の飯岡団地の戸建36戸が完成し、2月には入居者の募集を開始いたします。平成25年11月より用地交渉を進めてきた細浦・柳沢線が年末に開通いたしました。町民念願の町の大動脈となる道路であります。ご協力いただきました地権者の方々に御礼申し上げます。また、新斎場も完成しました。前斎場の用地を無料でお貸し頂いた龍泉寺様にも御礼申し上げたいと思います。

県との間では前山田病院の土地の協議も終わり協定締結したところでもあります。その土地を利用した観光拠点構想に向け、また一步前進いたしました。給食センターは来年の供用開始に向け、着々と工事が進んでいます。町の主たる産業である水産業についてはサケ、アワビなどの不漁が心配ではありますが、どのような対策を取れるか関係者と協議してまいりたいと考えています。

平成という一つの時代の終わりが見えてきました。そして新しい時代が始まります。今後、さらに進んでいく少子高齢化や縮小に向かう復興特需、公共施設の老朽化など多くの課題があります。これらに取り組んでいく上で「選択と集中」を欠かすことはできません。しっかりと20年、30年後を見据えた町づくりをしていかなければと考えています。今後も皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

結びになりますが、新年が皆様にとって素晴らしいものであることを祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

第66回
統計グラフ全国コンクール
本町から2人が入賞

入選



佐藤杏那さん
(山田南小4年)



『はんざいから命を守るためにわたしたちができること』

第2部(小学3・4年生)において、佐藤杏那さん(山田南小4年)の「はんざいから命を守るためにわたしたちができること」が入選しました。小学校の友達や宮古警察署の警察官から、防犯や110番通報の件数などについて聞いた話をまとめたこのグラフ。色使いやグラフの大きさを分かりやすくするのが難しかったと話す佐藤さん。入選した感想を伺うと「全国のすごい作品の中で、自分の作品が選ばれてうれしいです」とニコリと笑顔を見せました。

佳作



佐藤花音さん
(山田南小5年)



『将来のお手本女性の働き方』

第3部(小学5・6年生)では、佐藤花音さん(山田南小5年)の「将来のお手本女性の働き方」が佳作に選ばれました。内容は、町内で働く女性50人から取ったアンケートをまとめたものです。入賞の感想を「全国のコンクールで入賞は初めてなのでうれしいです。協力してくれた方々にもお礼が言いたい」と話す佐藤さん。「貴重な意見をまとめるのは大変だったけど、集計結果を通して自分の将来のことを考える機会にもなりました」とグラフを作成した意義を感じていました。

山田中剣道部、団体・個人で活躍

団体優勝は18年ぶりの快挙



山田中学校剣道部の皆さん

11月17日、18日に県営武道館で行われた剣道競技では、山田中学校の剣道部が男子団体で見事優勝。男子個人では、五十嵐君が準優勝しました。団体優勝は18年ぶり6度目の快挙となりました。

◎男子団体
県内49チームの頂点に立った山田中学校剣道部。部長を務める吉田祥太郎君(2年)は「優勝できてうれしいです。この結果は、今まで支えてくれた周囲の方々と剣道部の歴史を積み上げてきた先輩方のおかげです」と感想を話しました。副部長の田畑真君(2年)は「自分から攻める剣道を意識して稽古に取



五十嵐颯君

り組んできました。大会ではチーム一丸となって攻めることができ、雰囲気も良かったです」と大会当日を振り返ります。来年に控える中総体。吉田君は「今回の結果におごることなく、一試合一試合を大事にして全国大会出場を目指したいで

す」と力強く目標を話してくれました。

◎男子個人戦
総勢107人が出場し、斬り結んだ男子個人戦。五十嵐颯君(2年)は準優勝の健闘を見せました。「結果を残せてうれしいです」と感想を話す五十嵐君。「積極的に攻めることができたのは良かったけど、攻めすぎるあまり不用意に一本取られることもありました」と反省点を話します。中総体に向けては「自分は体格が良いわけではないので、技に磨きをかけ、県大会優勝、全国大会出場を目指したい」と力を込めました。